

令和8年3月7日

国士舘大学大学院 スポーツ・システム研究科（博士課程）

第Ⅲ期 入学試験

試験科目名：専門科目

（問題）

日本では、中・高校の課外活動が「運動部」と「文化部」とに区分され、スポーツ活動は「運動部」に分類されている。しかし「文化としてのスポーツ」と言われるように、スポーツもまた「文化」である。そこで、次の問いに答えよ。

- 1) スポーツが「文化」として捉えられてこなかった理由について説明せよ。
- 2) スポーツが「文化」である理由について、3つの文化的構成要素から説明し、それら構成要素の相互関係からスポーツの文化的現象を示す事例を述べよ。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	スポーツ・システム研究科 博士課程
試験期別	Ⅲ期
試験区分	一般選考・留学生選考
試験科目名	専門科目

■出題の意図

スポーツをシステムとして捉える基本的な考え方の1つとして、スポーツの文化的側面に対する基礎知識を問うとともに、それに基づいてスポーツの文化現象がどのような事例にみられるのかを挙げさせる問題である。

そのことによって、博士課程におけるスポーツに対する研究的視点を文化や社会との関係から幅広く考える能力を判定するとともに、スポーツ研究に対する人間科学としての厚みのある説明能力を明らかにしようとする意図がある。

■採点のポイント

●問1) について

- ・スポーツ体験が物理的、生理的な「運動」それ自体として意識されやすいこと
- ・それに対して「文化」のイメージは、考えたり、感じたりする対象に向けられることが多いこと（例えば、文学や芸術等）。キリスト教の心身二元論による影響。

●問2) について

- ・観念、行動、物質という3つの文化的構成要素を挙げ、スポーツにあてはめて説明。
- ・スポーツの行動文化であるスポーツ技術は、フェアプレイという観念文化の影響によりルール変更を伴って変化したり、モノの開発によって変化したりするといった事例。